

(1) 指導計画参考—道徳、あるいは、総合的な学習の時間—
 生きる力を育むことをテーマとして、道徳の時間においては、「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」、総合的な学習の時間においては「自ら学び、主体的に課題を解決する（避難する）」などの活用を期待しています。

単元名 津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』を見て考える津波防災
 —指導案—
 (45分授業用)

1 単元の目標

平成23年(2011年)に発生した「東北地方太平洋沖地震」をふまえ、大きな地震が発生した後は大きな津波が発生することを考え、迅速かつ自主的に避難することが大切である。いざというときの率先避難の意識と、避難に必要な津波の正しい知識、そして、日頃の備えの大切さを伝える事を目的とする。

- ①津波は大きな被害をもたらす威力を持った恐ろしいものだが、率先して避難する意識を持つことで、自分や他人の命を救うことを知る。
- ②避難のための津波の正しい知識を得る。
- ③いざというときのための津波に対する日頃からの備えについて学ぶ。

2 題材設定の理由

単元で使用する津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』は、東北地方太平洋沖地震で釜石を襲った津波の実例をアニメーションで再現した部分と、津波に関するクイズの部分、三重県尾鷲市で行われた防災マップ作りの取材映像の三部で構成されている。アニメーション部分では、津波の恐ろしさやいざという時の避難のあり方を意識に植えつける効果を狙う。クイズ部分では、津波に関する基礎知識を認識させる。最後の実写パートでは、津波に対する日頃の備えの大切さを児童に訴える。

3 展開

学習活動	支援(○)・評価(☆)
1. 導入 東日本大震災や、身近な災害についての話題から、本時の学習課題を確認する。	○大地震が身近でいつ起こっても不思議ではないという事を認識させる。 ○津波は地震が大きな被害をもたらす事を伝える。 ☆地震や津波が身近なもので、いつ襲ってくるかわからないものだと認識できたか？
2. 『津波からにげる』を視聴する。	○鷺住居小学校の子どもたちがどのように助かったのかを事実に沿って視聴させる。 ☆集中して視聴し、津波に関する避難の意識を認識できたか？
3. ワークシート「つなみからにげるには(小学校1・2年)」「釜石の子どもたちはどうやって津波からにげた?(小学校3~6年)」を使って、アニメーションで視聴した津波からにげるための意識を定着させる。	○鷺住居小学校の事例を元に、津波から避難するためのポイントを自ら考えさせる。 ☆避難訓練の大切さや、高いところに率先して逃げる意識などが身についたか？
4. ワークシート「つなみクイズ(小学校1・2年)」「津波クイズ(小学校3~6年)」を使って、津波に関する基礎知識を理解させる。	○津波に関する基礎的な知識について、本編の振り返りや補足情報などをヒントにクイズに解答させる。 ☆津波に関する知識を獲得できたか？
5. まとめ 感想を発表する。また、家族と津波についての話し合いをするようにする。	○津波に対して率先して避難する意識を定着させ、家族と防災意識を共有することで、地域や家庭と連携した防災体制をはかる。 ☆津波から身を守る意識や知識を獲得したか？ ☆家族と防災意識を共有することの重要性を理解できたか？

(2) 指導計画参考—学級活動—

本ビデオは、3分から5分（組み合わせによって10分）のパートに分かれていることから、短時間で視聴し、視聴後に振り返る活用ができると期待しています。

単元名 津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』を見て考える津波防災
—指導案—
(15分授業×3)

1 単元の目標

平成23年(2011年)に発生した「東北地方太平洋沖地震」をふまえ、大きな地震が発生した後は大きな津波が発生することを考え、迅速かつ自主的に避難するということが大切である。いざというときの率先避難の意識と、避難に必要な津波の正しい知識、そして、日頃の備えの大切さを伝える事を目的とする。

- ①津波は大きな被害をもたらす威力を持った恐ろしいものだが、率先して避難する意識を持つことで、自分や他人の命を救うことを知る。
- ②避難のための津波の正しい知識を得る。
- ③いざというときのための津波に対する日頃からの備えについて学ぶ。

2 題材設定の理由

単元で使用する津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』は、東北地方太平洋沖地震で釜石を襲った津波の実例をアニメーションで再現した部分と、津波に関するクイズの部分、三重県尾鷲市で行われた防災マップ作りの取材映像の三部で構成されている。アニメーション部分では、津波の恐ろしさやいざという時の避難のあり方を意識に植えつける効果を狙う。クイズ部分では、津波に関する基礎知識を認識させる。最後の実写パートでは、津波に対する日頃の備えの大切さを児童に訴える。

3. 指導計画

時間	学習活動	支援(○)・評価(☆)
1	【『津波からにげる』アニメーション部分と逃げた人たちの証言を視聴する。】 ○ワークシートを活用し、津波からにげるための意識を定着させる。	○鶴住居小学校の事例を元に、津波から避難するためのポイントを自ら考えさせる。 ☆避難訓練の大切さや、高いところに率先して逃げる意識などが身についたか？
2	【『津波からにげる』クイズ部分を視聴する。】 ○ワークシートを活用し、津波に関する基礎知識を理解させ、定着させる。	○津波に関する基礎的な知識について、本編の振り返りや補足情報などをヒントにクイズに解答させる。 ☆津波に関する知識を獲得できたか？
3	【『津波からにげる』防災マップ作り部分を視聴する】 ○自分の住んでいる地域について興味を持たせ、地域を知ることが防災の助けになることを学ばせる。 ○家族と防災について話し合うきっかけをつくる。	○地域の危険なところや安全なところなどを、地元の地図を見ながら発表させる。 ☆積極的に地域の様子を調べる意識を持つことができたか？家族と話し合うことの重要性を理解したか？

(3) 指導計画参考—防災訓練—

本ビデオは、津波から命を守る。そのために「主体的に避難する大切さ」として防災意識の高揚、避難するときには「高い所への避難」ということを重点的に伝えている。

このことから、特に実際の避難行動等を伴うような防災訓練の際に、まずこのビデオを視聴し、避難の大切さを学んだ上で行動し、「日ごろからの備えを身につける」効果が高まると期待している。

単元名	津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』を活用した訓練意識の高揚 —指導案— (45分授業)
-----	--

1 単元の目標

平成23年(2011年)に発生した「東北地方太平洋沖地震」をふまえ、大きな地震が発生した後は大きな津波が発生することを考え、迅速かつ自主的に避難することが大切である。いざというときの率先避難の意識と、避難に必要な津波の正しい知識、そして、日頃の備えの大切さを伝える事を目的とする。

①津波は大きな被害をもたらす威力を持った恐ろしいものだが、率先して避難する意識を持つことで、自分や他人の命を救うことを知る。

②避難のための津波の正しい知識を得る。

③いざというときのため、いざというときの避難場所の確認や実際に避難行動をとって「日頃からの備え」を学ぶ。

2 題材設定の理由

単元で使用する津波防災啓発ビデオ『津波からにげる』は、東北地方太平洋沖地震で釜石を襲った津波の実例をアニメーションで再現した部分と、津波に関するクイズの部分、三重県尾鷲市で行われた防災マップ作りの取材映像の三部で構成されている。全体を通じて「避難の大切さ」や「日ごろからの備え」そして「いざと言うときは率先して行動」することの大切さが盛り込まれており、視聴後に実際に行動をすることで、見て学んだ知識と行動が組み合わさって身につけられる。

3. 展開

	学習活動	支援(○)・評価(☆)
	1. 【『津波からにげる』アニメーション部分と逃げた人たちの証言を視聴する。】	○鵜住居小学校の事例を元に、津波から避難するためのポイントを自ら考えさせる。 ☆避難訓練の大切さや、高いところに率先して逃げる意識などが身についたか？
	2. 訓練の行動内容等を説明し防災訓練や避難訓練の実施	○訓練内容や訓練行動時の注意について説明 ○避難場所や避難経路についての説明 ☆真剣に行動することができたか ☆避難所の場所、避難経路、避難経路上の危険な場所などが確認できたか
	3. ワークシート「つなみからにげるには(小学校1・2年)」「釜石の子どもたちはどうやって津波からにげた?(小学校3~6年)」を使って、アニメーションで視聴した津波からにげるための意識を定着させる。	○鵜住居小学校の事例を元に、津波から避難するためのポイントを自ら考えさせる。 ☆避難訓練の大切さや、高いところに率先して逃げる意識などが身についたか？